

西中田小

ゲームに工夫 笑顔広がる



これがイチオシ

投票で選ぶ給食の献立

西中田小の給食は、自校給食ならではの特徴が二つあります。

一つ目は、6年生が家庭科の授業で考えたメニューの中から、全校投票で選ばれた献立が、実際に給食に出て食べられます。栄養バランスもよく、子どもたちの思いが詰まった給食です。

二つ目は、地元の農家「ベジランド佐藤」さんの野菜を使った給食が出ることです。写真の汁物と副菜の野菜のほとんどがここで作られたものです。地域で採れた新鮮でおいしい野菜を食べられるのが西中田小の自慢です。

学校名 仙台市立西中田小学校
所在地 仙台市太白区西中田7の7の1
創立 1983年
電話 022(241)5285
校長 深瀬 貴之
児童数 377人

編集委員 新妻沙也加、菊田準佑 (3月卒業)
指導教員 小林竜弥



「ふせんワクワク脱出ゲーム」で遊ぶ子どもたち

にぎやか「げんきっ子」

西中田小学校では、毎年10月に「げんきっ子まつり」という行事が開催されます。地域の方々が食べ物やゲームのお店を出し、多くの人が訪れてにぎやかで楽しい雰囲気になります。子どもたちのお店もあり、5・6年生を中心に自ら企画し、運営しています。昨年の子ども主催のお店は「ことばを探せ! ふうせんワクワク脱出ゲーム」でした。大量の風船の中からひらがなが書かれているものを探し出し、言葉地完成させるという斬新な内容です。

「げんきっ子まつり」は、地域の人々の協力に支えられている、西中田小学校の誇りです。地域との深いつながりを実感できる、心温まる一日になりました。

わが校わがまち

スクール通信



今回は 大塩小(東松島市) 長命ヶ丘小(仙台市)

ソーラン踊り 達成感に涙

円田小

円田プライド合言葉に

円田小学校は「円田プライド」を合言葉に、学年を超えた「たてわり活動」に取り組んでいます。「円田プライド」には、「明るいあいさつ」「優しき」「の意味が込められています。全員が元気なあいさつで学校を明るくし、誰に対しても優しい気持ちを持って接しよう」と意識しています。「円田プライド」には「円田小の伝統を受け継ぎ、誇りを持って頑張っていこう」という意味も込められています。伝統の一つに円小ソーランがあります。毎年12月に6年生が、下級生に踊り方を優しく丁寧に教えます。下級生はそんな上級生に憧れ、一生懸命に練習に取り組みます。



①みんな仲良く「たてわり活動」 ②伝統引き継ぐ「円小ソーラン」

編集委員 我妻美羽、小島怜梓、佐藤夏乃、佐藤優那、佐藤柚奈、佐藤和奏、鈴木琉空、永戸陽夏乃、渡辺優月 (3月卒業)
指導教員 藤野洋子

これがイチオシ

文化財多く歴史を学ぶ

蔵王町はおいしい梨の産地として知られていますが、古墳や遺跡など歴史的な文化財も数多く残っています。

6年生は史跡巡りをします。鞘堂山遺跡では、普段何げなく見ていた畑に土器片が落ちていることに驚き、歴史を身近に感じました。江戸時代に建てられた我妻家住宅では、太い柱、梁に支えられた立派なかやぶき屋根から当時の人々の知恵や工夫を学びました。

ほかにもさまざまな文化財が残る蔵王町は、歴史を味わうことができる自慢の町です。

学校名 蔵王町立円田小学校
住所 宮城県蔵王町円田堀の内28
創立 1873年
電話 0224(33)2036
校長 早川 英紀
児童数 79人

約3時間かけて作業を終えた。衣吹さんは「最初にやぐらに住む山岸敏一さん(63)、母の佳奈恵さん(41)らが「いいよ。まっすぐだよ」と声をかけながら見守った。

河北新報に載った子どもが主役の記事を紹介します。

松島の小6 阿部さんが田植え



じいちゃんの田んぼで田植えする衣吹さん=5月11日、宮城県松島町

「曾祖父の田んぼなくさない」



宮城県松島町の松島二小6年阿部衣吹さん(11)が先月、田植え機に乗り、大好きだった曾祖父の忠太郎さんが残した水田にササニシキを植えた。秋の収穫を目指し、親しみを込めて「ササイブキ」と呼ぶ稲の栽培に取り組む。

衣吹さんは、忠太郎さんが名付けた「まるちゅう農園」のワッパンが付いた作業服を着て、小型の田植え機を慎重に操縦し、1000平方メートルの水田に苗を植えた。農業の師匠で近くに住む山岸敏一さん(63)、母の佳奈恵さん(41)らが「いいよ。まっすぐだよ」と声をかけながら見守った。

昨年、「ササイブキ」は、収穫量が約480キロになった。衣吹さんは松島二小に、5年生の調理実習用に3キロを提供。「友だちがおいしいと言ってくれてうれしかった。給食センターに提供して、もっとたくさんの人に食べてもらえたらいいな」と目を輝かせる。

口ひげが世界をすくう?!

ザラ・ミヒャエラ・オルロフスキー 作
ミヒャエル・ローハー 絵
若松宣子 訳
岩波書店



祖父と孫の愉快な大冒険

ヨーヨーは1年B組の男の子。ヨーヨーのおじいちゃんは、おばあちゃんが死んでから、元気がありません。ところが「世界ひげ大会」の新聞広告を読んで、突然、ひげのチャンピオンになると言い出しました。

ある日、「なあに、それ。だけど、ヨーヨーのおじいちゃんのおご、赤ちゃんのおしりみたい、つるつるつるじゃない!」と、友だちにからかわれ、ヨーヨーの顔は真っ赤になりました。午前中ずっと、ヨーヨーの

頭は、ひげのことでいっぱい。あんまり悩み過ぎて、頭が痛くなっていました。ヨーヨーはおじいちゃんがいつも言っているようにノートに問題を書いてみることにしました。そしてようやく、何が問題なのか、はっきり分かりました。おじいちゃんとヨーヨーの愉快な大冒険がはじまります。イラストも愉快な一冊です。小学校中学年から。(仙台市宮城野図書館 岩淵明広さん)